

## 第2回池田市総合計画審議会 次第

令和3年8月5日（木）午後3時～  
池田市役所3階議会会議室

### 1. 開 会

### 2. 案 件

- (1) 総合計画策定の進捗状況について
- (2) 基本構想素案策定の背景となった池田市のデータについて
- (3) 第1回審議会の意見への市役所内部の検討結果について
- (4) 部会の再編成について
- (5) その他

### 3. 閉 会

#### (配布資料)

- ・資料1 第1回総合計画審議会後の総合計画策定の進捗状況について
- ・資料2 第7次総合計画基本構想素案に関する主要意見等と対応方針案について
- ・資料3 総合計画審議会委員 部会振り分け
- ・資料4 第7次総合計画前期基本計画における施策体系案

## 第1回総合計画審議会後の総合計画策定の進捗状況について

### ■若手職員ワーキングチーム

メンバー:2020年度新任副主幹 21人

役割:実務的課題を踏まえた研究を行う

日付	内容
4月 8日	グループワーク
6月29日	グループワーク
7月30日	グループワーク
8月23日	グループワーク
9月	総合計画策定ワーキングチームへの提言

### ■総合計画策定ワーキングチーム

メンバー:総合政策部長、各部局の次課長級職員 15人

役割:基本構想及び基本計画の案の策定及び調整を行う

日付	内容
5月21日	第1回総合計画審議会での意見等への対応の検討 前期基本計画における施策体系等についての検討
6～7月	基本計画施策シートの作成
7月16日	基本構想素案に関する主要意見と対応方針案の検討 基本計画施策シートに関する意見交換
8月	基本計画施策シートに関する個別ヒアリング
9～10月頃	個別ヒアリングを踏まえて調整した基本計画施策シートについての意見交換

### ■総合計画策定委員会

メンバー:副市長、教育長、水道・病院事業管理者及び各部長 19人

役割:基本構想、基本計画の案の調整及び決定を行う

※4月～7月の間に開催なし

該当箇所		主要意見等の内容	対応方針案	対応方針案の根拠となる 策定ワーキングチームの検討結果及び市民意識調査結果	
全般	—	<p>良くも悪くも、全体的に普通な印象を受ける。</p> <p>自治体の財政危機の話もあったが、この総合計画をもとに10年間進めた場合に、池田市が維持できるのか疑問である。計画の差別化が難しいことは承知しているが、より踏み込んだ独自の計画にしてもらいたい。</p>	<p>今後、基本計画の検討状況や、将来像のキャッチフレーズの設定等と合わせて、総合計画全体として、これから10年間の池田市のまちづくりをリードする内容が表現できるよう、検討します。</p>	<p>・池田市が目指す独自の基本構想を作成すべきだと思います。目指す未来ビジョンの実現ため、具体的な素案には、綺麗事を並べたくはない。 (例えば、人口を増やしたいのであれば、これからの10年間は、高齢者世帯を重視するのではなく、若者が生活しやすい環境を作るべき目標を具体的に示していくなど)</p> <p>・昔も今も未来も変わらずあるであろう池田の自然について多項目にその特色を活かせる内容にしてはどうか。</p> <p>・今後10年間のまちづくりで重要だと思うことの上位は「安心・安全なまち」、「日常生活の便利さ」、「医療機関の充実」、「交通の利便性」、「保育・子育て支援の充実」、「教育環境の充実」だった。</p>	
第1部 序論	2 池田市を取り巻く状況	2.1 社会の動向	<p>SDGsのゴールについても意識をしなければいけない。</p> <p>SDGsのゴールは2030年であり、計画期間が2027年までとなる前期基本計画においても、達成の目途をつける必要がある。</p>	<p>基本計画の達成目標や指標については、SDGsの達成を意識して設定することを想定しています。</p>	<p>「SDGsをすべての施策と関連付け、強く推進することを大前提としつつ…」と言った内容の文言にするのも有効かなと思います。</p>
			<p>「持続可能」という言葉が分かりにくい。</p> <p>分かるようで実は分かりにくい言葉であるため、分かりやすい言葉で表現してはどうか。</p>	<p>基本構想素案の全体の調整を行う中で、「環境負荷が小さい」、「将来世代が現役世代と同様に幸せ」など、よりわかりやすい表現に修正することを検討します。加えて、キーワードとなる「2050年カーボンニュートラル」に関する背景や、グリーンインフラの活用についての記載を盛り込むことを検討します。</p>	<p>「分かりにくい」「馴染みにくい」という指摘があるように、計画の中には市民目線では理解しにくい表現、言いまわしが使われがちになるので、受け入れてもらいやすいように注意が必要。</p>
		2.2 池田市を取り巻く状況	<p>「職員数を減少させる」ことについて。</p> <p>日本の行政職員数の人口に対する比率は世界的に見ても非常に少ない。施策の中で安全・安心を担保していくとしているが、教職員や消防署員、コロナ対応の医師、看護師などについて、仮に人数を削るのであれば、書き方は丁寧に検討する必要がある。</p>	<p>「職員数を減少させること」そのものが目的ではなく、技術による事務の効率化や職員負担の軽減を図ることで、行政の役割としての重要性が高まっている、「プラットフォームビルダーへの転換」等に注力する趣旨であることを明らかにする形で修正することを検討します。</p>	<p>現状でも職員数削減による弊害がコロナ対応において目に見えて現れているように思えるため、記載するのであれば意見のとおり、よく検討してからにするべきだと思います。</p> <p>「職員数減少」については、文書を工夫した方がよいのではないかと思います。(現状は様々な部署で人員不足との声あり。)例えば、教員数については、国は35年学級を進めていくなど必ずしも減少とは言えない部分がある。一律に「自治体は、職員数を減少させよう」と記載するのは少し難しい。</p>
1 まちの将来像	1.1 めざまちの将来像	<p>キャッチフレーズについて①</p> <p>日本語として少し分かりにくいと感じた。</p> <p>何が主語か、また何が伝えたいことなのか分かりづらく、地域の方もとまちに出ていくことを強調するのであれば、「地域」という言葉を残してもよいし、市民が全面に出るのであれば、「地域」という言葉はなくてもよいのでは。</p>	<p>キャッチフレーズや将来都市像については、市民公募を予定しています。そして、これらを説明する文章についても、現案の趣旨を踏まえつつ、採択されたキャッチフレーズと調和し、かつ分かりやすい表現となるよう調整します。</p>	<p>めざまちの将来像が、キャッチフレーズも含めわかりにくいという意見が出ていたが、確かに抽象的ではあけてしまっている感があるように思う。ポイントを絞るか、大きな将来像を目指す中で今期の柱となる部分を明確にした方がいいのではと感じた。</p>	
		<p>キャッチフレーズについて②</p> <p>「地域」と「共育」</p> <p>「地域」と限定してしまうと、地域にこだわらない日本レベルで活動しているNPOなどが当てはまらなくなる。</p> <p>「共育文化都市」の「共育」という言葉も、馴染みにくいかもれない。</p>	<p>公募予定のキャッチフレーズを踏まえるとともに、「地域」に関しては、これを残す場合は、市内で活動する多様な主体は、その規模等に関わらず、「地域」を構成し、支える重要な要素であることが伝わる表現に調整します。</p> <p>「共育」という造語を用いた背景としては、本市が、「教育・文化・健康都市」を宣言し、この都市宣言の趣旨に沿ったまちづくりを推進しており、さらに、SDGsや地域共生社会の推進といった概念も盛り込んだ、新たな将来都市像を構想するにあたって、「ともに育ちあう」ことを表したい意図があります。</p> <p>その意図が十分に伝わる表現となっていないことや、実施予定のキャッチフレーズの公募の結果も踏まえながら、その使用の是非を含めて、表現を検討します。</p>	<p>「共育」という言葉が馴染みにくいという委員の指摘について、互いに育て合う＝共育と本文に記載されているが、何を育て合うのかを明らかにすべきと考えます。また、造語であり、一般的に捉えられている「共育」の意味とは若干違った用い方をしているので、用語解説も必要かと。</p>	
		<p>将来像が4つ示されているが、どこを重点的に進めるのか。</p> <p>あるいは並行して進めるのか、市民意向や行政方針も踏まえて、検討することが重要ではないか。</p>	<p>将来像として4つのイメージを示していますが、これは、現行の第6次総合計画における章の構成や、SDGs等の新たな視点を機軸とすることを踏まえて、第7次総合計画の基本計画における施策のまとめ方を想定することで案を作成したものです。</p> <p>国全体で人口減少が進む中、国策として地方創生が進められる中、各種現状分析の結果から、市の魅力発信の重要性を再確認しており、本市の魅力を活かしたシティプロモーションを図るべきことを重視したことから、「①価値を高め発信するまち」を1つ目の柱と位置付けています。</p> <p>具体的な重点的取組を表現するにあたっては、基本計画において重点施策を設定することを想定しているため、基本計画における重点施策の設定状況を踏まえ、優先順位や方向性を明らかにすることを検討します。</p>	<p>めざまちの将来像が、キャッチフレーズも含めわかりにくいという意見が出ていたが、確かに抽象的ではあけてしまっている感があるように思う。ポイントを絞るか、大きな将来像を目指す中で今期の柱となる部分を明確にした方がいいのではと感じた。</p> <p>これから10年間で施策の重要性 達成度が高く重要度も高い施策…上下水道、消防・救急、市街地整備 達成度が低く重要度が高い施策…財政、労働・雇用</p>	
		<p>4つの将来像のうち、「①価値を高め発信するまち」の発信だけが具体的である。</p> <p>発信はその箇所だけでよいのかは疑問に感じた。</p>	<p>「発信」は、移住定住の促進のみならず、他の施策においても重要性が高いものと認識しています。今後の審議会の議論などを踏まえながら、「まちづくりの進め方」に掲載している各項目との関係性も鑑みて、その取扱いについての検討を進めます。</p>	<p>「移住を促進する」と表現すると、移住促進についての本格的な取組が必要となるので、表現についての議論は必要だと思う。</p> <p>30代以上と比較して20代以下は池田市に住み続けたいと思う人が少ない。</p> <p>池田市は住みやすいと思う人が82.4%いるにもかかわらず、市外の人にまちの魅力を感じてくれる人は48.4%だった。</p>	

第2部 基本構 想	1. 2 人口の目標	<p>池田市の人口が増えたとしても大阪府内などから人口が移動しているだけである。</p> <p>日本全体で人口が減少しており、他市の人口が減っているということになると、あまり意味がないのではないかと。</p> <p>そもそも人が集まることがよいのかという議論はある。合計特殊出生率を上げるなど、数値を上げるのであれば、根本的な課題に焦点を当てる方がよいのではないかと。</p>	<p>人口の目標については、第2期「池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性を確保した上で、近隣自治体間での社会動態よりも、まちづくりに参画する人々の増加や、結婚や子育てに関する希望を持ちやすい社会づくりが肝要であることを踏まえて、定住人口だけでなく、「まちづくり人口」に関する目標の記載も行ったものです。</p> <p>今後の審議会での議論等を参考に、表現の精査と調整を行います。また、総合戦略との関係性について加筆するとともに、「市外から人口を奪う」と解され得る記述については、「住みたくなる」などといった表現に調整します。</p>	<p>「池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と総合計画とは、ずれてはならず、意識すべき旨の発言があるが、基本構想素案では2ページ目の図に同戦略名が掲載されている程度で、同戦略を意識したというには不十分ではないかと。</p> <p>「子育て世代から転入先として選ばれるまち」などは、他市から奪い取るように受け取る人もいるので、表現を「住みたくなるまち」などに変えてはどうか。</p> <p>人口減少への対応政策は「結婚・出産・子育て施策に重点を置き、子どもを増やすことによって人口減少を食い止める」とする意見が60.3%と一番多かった。</p>	
		<p>関係人口について</p> <p>コロナ前には流行りとして語られることもあったが、中山間地ならともかく、10万人規模の都市で関係人口を増やすことは財政や地域経済の活性化にどの程度効果があるのかは疑問である。リアルな経営という部分で結びつかないため、整理し、具体化してはどうか。</p>	<p>関係人口の概念については、定住人口の維持や増加が望めない中であっても、まちの活力を維持したい意思を明らかにするために、「まちづくり人口」に内包される形で記載しました。一方、関係人口の内訳は、ふるさと納税者や週末移住者等の多岐にわたることから、基本構想素案では方向性のみ記載に留めています。その実態や、まちの活力への寄与度の定量的な把握・整理にあたっては、前期基本計画や個別の関連計画におけるKPIを設定することを検討します。</p>	<p>「都市経営」をどのような定義付けにするのか、表現に工夫が必要だと思う。</p> <p>市のブランドイメージとして「教育のまち」、「自然やみどり豊かなまち」を発信する。</p>	
		<p>交流人口や関係人口について</p> <p>交流人口や関係人口を獲得するためには、外部に向けた発信だけでなく、外部からの資源をどのように受け入れるかという視点も重要だと感じた。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、引き続き表現を検討します。</p>	<p>市外からの観光客や買物客、労働者などの交流人口を増やす政策を取っていくべき…11.3%</p>	
	2. 施策の方針について	2. 1 施策の柱	<p>人権の意識が少し薄い印象を受ける。</p> <p>「人権」という言葉も一つの大きなテーマであると思うが、全体を通して人権の意識が少し薄い印象を受ける。</p>	<p>SDGsの多くの項目も、国際的な人権文化の高まりに根拠を設けられていることから、「まちづくりの進め方」の中で、強調して表現することを検討します。</p>	<p>日本のジェンダーギャップについて、部会の構成にも意見されているが、ワーキングチームにおいても多様な意見を求めるため、より多くの女性メンバーに参加してもらおうが良いと考えます。</p> <p>SDGsの達成に向けて地域や市民のために取り組むこと。</p> <p>「5 ジェンダー平等を実現しよう」12番目に重要</p> <p>「10 人や国の不平等をなくそう」13番目に重要</p>
			<p>「選択と集中」について</p> <p>「選択と集中」という言葉があるが、この言葉が正しいのかは疑問に感じる。実際に何をすることがわかりにくいので、わかりやすいフレーズに置き換えてはどうか。</p>	<p>「将来世代が、現役世代以上に心豊かに生活できるまちづくりを進める、という考え方のもと、優先的に注力すべきものを明らかにする」という趣旨が伝わるよう、表現を検討します。</p>	<p>「分かりにくい」「馴染みにくい」という指摘があるように、計画の中には市民目線では理解しにくい表現、言いまわしが使われがちになるので、受け入れてもらいやすいように注意が必要。</p>
			<p>「持続可能な都市経営」について</p> <p>「持続可能な都市経営」については、「持続可能な都市経営」というテーマに沿って選択する」と考えてはどうか。持続可能でない投資はできるだけ後回しにし、次世代の形成、経済の再生産に結びつくようなものを選択して投資すべきという選別のビジョンをここで示すべき。</p>	<p>〃</p>	<p>「都市経営」をどのような定義付けにするのか、表現に工夫が必要だと思う。</p>
<p>救急や防災に対する池田市の方針について</p> <p>市民アンケートで安全や防災が注目されていたが、救急や消防はすでに広域的に取り組まれていることも多い。救急や防災は、市民の生活を最後の最後で支える分野であり、池田市は山を多く持つ市であるため、救急や防災に関しては池田市の方針をもう少し示した方がよいのではないかと。</p>			<p>救急や防災に関連する方針として、「池田市地域防災計画」及び「池田市国土強靱化地域計画」を策定しています。「池田市国土強靱化地域計画」については、めざす将来像の実現に向け、「池田市総合計画」との整合・調和を図りつつ、それぞれが都市経営の両輪として、本市のすべての分野別計画に指針を与える「アンブレラ計画」と位置付けていることを踏まえた記述を検討します。</p>	<p>アンブレラ計画として国土強靱化地域計画を策定し、総合計画とともに都市経営の両輪とすることとしたことを踏まえ、総合計画基本構想においても、これらの計画の位置付けに留意した記載をする必要があると考える。</p>	

# 資料3

## 総合計画審議会委員 部会別振り分け

地域生活環境・まちづくり部会

健康福祉・教育部会

概要	行革、市民参画その他行政総論
ジャンル	SDGs
	市民参画
	行財政改革
	都市経営
	公会計
	Society5.0
	官民連携
	リスクヘッジ（内部統制）
	情報公開・個人情報保護
	コンプライアンス
フューチャーデザイン	
働き方改革、人事管理	
構成員	
1	中川 幾郎 帝塚山大学名誉教授
2	高野 憲亮 大阪市立大学教授
3	若本 和仁 大阪大学准教授
4	庄田 佳保里 (NPO) いけだエコスタップ理事長
5	渋川 修二 ダイハツ工業株式会社
6	門屋 正三 ソフトバンク株式会社
7	北川 淳也 市民公募委員
8	清水 直樹 大学院生
9	元平 修治 副市長
10	岡田 正文 副市長

部会長

概要	活力、まちづくり
ジャンル	シティプロモーション
	地域の魅力創出
	観光・文化
	荷工
	雇用
	環境
	防災・安全・安心
	都市計画・まちづくり
	ユニバーサルデザイン
	アセットマネジメント
コミュニティ	
—	
構成員	
1	大島 博文 大阪成蹊大学教授
2	近藤 誠司 関西大学准教授
3	栗田 拓 (NPO) TOYBOX代表理事
4	庄田 佳保里 (NPO) いけだエコスタップ理事長
5	岡本 厚 池田市観光協会
6	多田 幸希 池田商工会議所
7	板谷 実 池田市社会福祉協議会
8	グレンチェール 亜子 外国人等代表
9	浅田 圭佑 市民公募委員
10	喜多村 航己 大学生
11	吉田 三莉 大学生
12	元平 修治 副市長
13	岡田 正文 副市長

部会長

概要	福祉、健康、子育て、教育
ジャンル	福祉
	健康、保健衛生
	雇用
	教育
	子育て
	Diversity
	—
	—
	—
	—
—	
構成員	
1	池上 益世 大阪青山大学准教授
2	眞田 巧 大教大附属池田小学校校長
3	田和 正裕 JICA関西
4	茂籠 知美 池田市社会福祉協議会
5	金子 丈雄 学校園PTA協議会会長
6	林 陽 外国人等代表
7	荒木 正太 市民公募委員
8	畑中 蒼 大学生
9	元平 修治 副市長
10	岡田 正文 副市長
11	田淵 和明 教育長

部会長

## 第7次総合計画前期基本計画における施策体系案

### 基本構想素案におけるまちの将来イメージ

①  
価値を高め  
発信するまち

まちの魅力を磨き上げ、発信することで、住み心地が向上し、まちに対する市民の愛着も深まり、継続的に訪れるファンも増加するまち。  
市民、企業、研究機関、行政などが連携し、社会課題の解決にチャレンジするまち。

- (1) 自然環境の保全と活用
- (2) 都市魅力の維持・創出
- (3) 観光交流の推進
- (4) 魅力発信と移住定住促進
- (5) 地域経済循環の推進
- (6) 農園芸の振興

②  
子どもと大人  
の未来を  
育てるまち

子育てや教育環境、そして生涯学習やスポーツの環境が魅力的で、大人も子どももやりがいを持ち、未来に希望を持てるまち。  
安心して子どもを生育てられる、充実した環境が魅力となり、子育て世代から転入先として選ばれるまち。

- (1) 少子化対応と子育て・若者支援
- (2) 学校教育の充実
- (3) 生涯学習・スポーツの推進
- (4) 市民文化・芸術活動の推進

③  
いきいきと  
暮らし  
続けられる  
まち

住み慣れた地域で、みんなが健康に、いきがいをもち、暮らせ、多様な価値観や考え方を互いに認め合えるまち。  
健康や福祉、医療などのセーフティネットが整うとともに、地域でお互いに支え合い、個性が活かされるまち。


- (1) 高齢者福祉・介護の充実
- (2) 障がい者福祉の充実
- (3) 地域福祉の充実
- (4) 医療・保健衛生・健康の充実
- (5) 人権の尊重

④  
地球環境と  
調和する  
安全・安心な  
まち

市民が安全・快適・便利に暮らせる基盤として、住環境、公共交通、水道等が整う、地球環境と調和する持続可能なまち。  
自然災害や感染症などの危機に対しても、市民、事業者、行政が協働して対応するまち。

- (1) 道路・公共交通の充実
- (2) 住環境の維持・充実
- (3) 上水道の充実
- (4) 下水道の充実
- (5) 防犯・防災の充実
- (6) 脱炭素・循環型社会の推進

# 基本計画施策シートサンプル

<p>施策の柱の名称</p>	<p>1 価値を高め発信するまち</p>
<p>施策の名称</p>	<p>(3) 観光交流の推進</p>
<p>関連するSDGsのゴール</p>	
<p>めざす姿</p>	<p>五月山を中心とした自然や、多様な文化施設・伝統行事等や人的資源等本市のポテンシャルを、対外的に情報発信を行い、広く国内外より観光客を誘致し、市内の観光業の促進や、地域の活性化を図り、雇用機会の創出やまちづくり人口の増大で持続可能なシステムの構築。 また、人の交流や地域活性化のための貴重な地域資源である大阪国際空港のポテンシャルを活用した取組を進める。また、騒音等の環境問題の軽減に努める。</p>
<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市は、高速道路網や鉄道、大阪国際空港など交通アクセスに恵まれている。</li> <li>本市には、五月山や猪名川をはじめとする豊かな自然や歴史民俗資料館、落語みゆーじあむ、逸翁美術館、小林一三記念館、カッブヌードルミュージアム、大阪池田、ヒューモビリティワールドなど、官民を問わず様々な文化施設があるほか、池田城跡公園、久安寺などの史跡、など多くの観光資源がある。これらの施設はそれぞれ個々には集客力があるので、市内全体を観光してもらう仕掛けづくりが必要である。</li> <li>本市には農業体験やいちご狩り体験など、多様な体験型コンテンツを有する事業所が複数あるが、対外的に情報を発信できていない。</li> <li>本市の代表的な伝統行事である「かんがら火祭り」や地域に根差した「池田市民カーニバル」を活かした集客やまちの活性化が求められている。</li> <li>国内線の基幹空港である大阪国際空港は本市に所在しており、人の交流や地域活性化のための重要な地域資源である。</li> <li>本市の一部の地域では大阪国際空港の騒音問題が存在している。</li> </ul>

<p>取組の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光の促進 観光協会を支援し連携を深めながら、様々な企画やイベントを行い観光の促進を図る。</li> <li>伝統行事やイベントの充実・支援 かんがら火祭り、池田市民カーニバルなど地域の活性化に寄与するイベントを開催する。</li> <li>広域観光事業の推進 市内を回遊してもらえるよう散歩アプリの活用や、周辺自治体との官民連携を図り、広域観光を推進する。</li> <li>観光PRの強化 池田市観光案内所・大阪池田ゲストインフオメーションやオンラインやサウンドメディア・SNSなどを活用し、情報発信の強化を図る。</li> <li>海外からの観光客の誘致 池田市観光協会ホームページの多言語表記や、他市の自治体においてほとんど先例がない取り組みとして市内でベジタリアン・ヴィーガン対応、ムスリムフレンドリーな店舗の情報提供を行いインバウンドの誘致を図る。</li> <li>観光トレンドへの適応 情勢の中で変化していく観光トレンドの情報収集をし、市内観光が適応するよう努める。</li> <li>空港を活かした地域づくり 近隣市町村と連携をとりながら、空港機能を活用したまちづくりを推進する。</li> <li>空港騒音に関する取組 各種協議会を通じて、国や運営会社に騒音対策の実施や各種助成金の制度に関する要望を行う。</li> </ul>
<p>市民の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントや行事などに積極的に参加し地域の交流や活性化を図る。</li> <li>観光ボランティアガイドなどに参加し観光客のおもてなしや池田市の魅力の発信を行う。</li> <li>本市の歴史や文化などに興味を持ち、シビックプライドを形成する。</li> <li>重要な地域資源である大阪国際空港のさらなる活用と地域活性化を図る。</li> </ul>
<p>関連する分野別計画など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域再生計画（池田市）</li> <li>明日の日本を支える観光ビジョン（観光庁）</li> <li>空港の設置及び管理に関する基本方針（国土交通省）</li> </ul>